

議会だより



12
月
定
例
会

一般会計補正6億9,719万円を追加(12月定例会) — 3

町政のここが聞きたい〈8人が一般質問〉 — 5

委員会調査報告 — 14

条例改正

深夜バス運行を終了

広域運行乗合自動車条例を廃止する条例

提案理由 丁R常磐線の再開に伴い、岩沼駅～浜吉田駅間を運行していた代替バスの条例を廃止するものです。

(全員賛成で可決)

問 おおくま防災広場・よしだ防災広場は、本来は車で逃れてきた方のための防災・避難施設である。一般開放してもよいのか。

また、使用料をいただ

いてよいのか。

生涯学習課長 復興交付金で整備した施設ですが、平常時には施設せず、多くの住民の方に利用していただくことも目的の一つです。占有する場合の使用料は施設の維持管理費となります。

企画班長 10月末現在で総人数3271人、月平均172人、1日平均9人の運行状況です。深夜の乗客支援と、震災前の運行ダイヤ確保の必要性を丁R東日本(株)にPRする効果がありました。

運動場条例の一部改正

提案理由 新たに設置されたおおくま防災広場・よしだ防災広場の位置、使用料などを追加するた

め

の条例改正です。

(全員賛成で可決)

公の施設の指定管理

提案理由 逢隈児童館の管理運営について指定管理者の指定をするものです。

指定管理団体

社会福祉法人

宮城県福祉事業協会

指定期間

平成29年4月1日～

平成32年3月31日

(全員賛成で可決)

工事請負変更契約

工事名

平成27年度(復交)町道五十刈線橋梁架替工事

請負金額

1億7192万1960円

(2072万1960円増)

請負業者

阿部工務店・結城組・勝田組 復興JV

(全員賛成で可決)

問 バイプロハンマ使用の設計を、なぜウォータージェット併用の工法変更としたのか。

都市建設課長 地質調査の結果を基に施工可能との設計でしたが、実際の現場は、礫まじりの砂質で、矢板の打込みができず(※)バイプロハンマとウォータージェット併用の工法に変更しました。※橋梁架設工矢板打込みのため、バイプロハンマの重さと振動で鋼矢板を地盤に打込む工法と矢板等の先端付近に取

り付けたノズルから高圧水を噴射させ、打込み能力を補助するもの。

工事名

平成27年度23都災第2958号荒浜排水区(その2)第一工区災害復旧工事

請負金額

2億4326万1360円

(1214万1360円増)

請負業者

八木工務店・芦名組・丸福建設 復興JV

(全員賛成で可決)

問 宮前野球場フェンス等改修工事はいつから使用できるのか。

生涯学習課長 利用開始は平成29年4月から予定しています。今回の修繕はフェンス、ベンチ、バックネット等で年次計画で整備を進めます。

宮前野球場の改修

問 観光ガイドブックの昨年の印刷部数と配布先は。

商工観光課長 平成28年度は2万6千部印刷しています。今回は平成29年4月から配布するための補正です。配布先は、町施設、町内事業所、亘理駅、道の駅、高速サービスエリア等です。

観光ガイドブック

問 障害者の就労継続支援事業A型・B型の利用人数と決定方法は。

福祉課長 就労継続A型は利用者が20人で減少しており、B型は77人と増加しています。どちらにするかは利用者の状況や本人と家族の意向に基づき、相談支援事業所が評価を行い決定されます。

就労継続支援事業

鳥の海サッカー場

問 サッカー場の公認取得申請について付帯施設の整備は。

生涯学習課長 施設利用者を増やすため、シャワールームや更衣室の必要性の意見があり、設置する方向で協議しています。

鳥の海サッカー場

遊休農地の課税強化

問 平成28年度地方税法改正によるシステム改修の遊休農地解消、農地の課税強化とは。

税務課長 農地中間管理機構から勧告を受けた遊休農地について、固定資産税の評価額を約1・8倍とするものです。

遊休農地の課税強化

鹿島本線改良工事

問 町道鹿島本線道路改良工事は鹿島川改修にあわせて道路工事なのか。

都市建設課長 鹿島本線と県道の交差点にある土地の所有者から協力が得られたため、幅員を7メートルにする改良工事を行います。

鹿島本線改良工事

観光ガイドブック

宮前野球場の改修

改修される宮前野球場



改修される宮前野球場

第7回亘理町議会12月定例会を12月2日から12月9日までの8日間の会期で開催しました。

冒頭に齋藤町長から職員の不祥事についての陳謝があり、町から提出された平成28年度一般会計補正予算など23議案を審議し、慎重審議の結果すべて原案どおり可決しました。主な内容を紹介します。

低所得者への経済支援として 臨時福祉給付金9,489万円計上

平成28年度12月一般会計・特別会計補正予算の主な事業

◆宮前野球場フェンス等改修工事 (仮設住宅から野球場として利用再開するための復旧工事)	3,230万円
◆担い手確保・経営強化支援事業補助金 (農業の経営改善に意欲的に取り組む担い手への農業機械の導入支援)	1,989万円
◆亘理中学校中庭改修等工事 (中庭のケヤキ根処理及び英語等の言語実習室の改修工事)	265万円
◆工業用地等造成事業費(工業用地等造成事業特別会計) (企業側の事業計画見直しにより、土地売却が困難となり減額)	▲9億5,302万円

生涯学習課長 施設利用者を増やすため、シャワールームや更衣室の必要性の意見があり、設置する方向で協議しています。

福祉課長 就労継続A型は利用者が20人で減少しており、B型は77人と増加しています。どちらにするかは利用者の状況や本人と家族の意向に基づき、相談支援事業所が評価を行い決定されます。

平成28年12月 第7回定例会 議案等の審議結果

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 退：退席 除：除斥 無記名投票：無記名投票 ※議長は採決に加わりません。

Table with columns for 議案等番号, 件名, 議決月日, 出席者数, 賛成数, 反対数, 結果, and 議員名 (議席番号順) 1-18. Rows include various municipal ordinances and budget amendments.

一般質問

町政の「こ」が聞きたい

「一般質問」は町長に対し、将来に向けての考えなどを

ただ質すものです。今回は8人の議員が登壇し行いました。

高野 進議員 6P

- ・野生鳥獣駆除 隊員の増員対策は
・談合事件 「入札監視委員会」の設置を

佐藤アヤ議員 7P

- ・産後ケア事業の取り組みは
・認知症の早期発見と早期治療の考えは

大槻和弘議員 8P

- ・原発問題の対応は
・民話の活用について
・町民バス運行経路の変更は

小野一雄議員 9P

- ・集団移転団地内の空き地の除草作業は
・入札の予定価格を公表しては

鈴木邦昭議員 10P

- ・小・中学校の長寿命化について
・いちご団地の修繕について
・小・中学校男子用小便器に手すりの設置を

佐藤正司議員 11P

- ・災害公営住宅から一般公営住宅への移行は
・鳥の海への交差点道路改良は

渡邊重益議員 12P

- ・新教育長の今後の指導方針は
・窓口サービスの環境改善を
・指定管理者制度 文化・スポーツ施設でも活用を

安藤美重子議員 13P

- ・まちづくり協議会への財政的支援は
・バイオマスエネルギーの事業化は



野生鳥獣駆除 隊員の増員対策は 鳥獣被害対策実施隊の設置実現に努める

問 昨年9月7日、山元町でクマの目撃情報が新聞報道された。イノシシやクマによる人や農作物への被害が懸念される。クマ対策はどのようになっているか。

町長 クマの被害が確認され、想定される状況になれば、地元駆除隊や警察などと連携し、捕獲・駆除を実施していきま

問 野生鳥獣を駆除する有害鳥獣駆除隊の増員対策として、狩猟免許取得などの費用を補助しては。

町長 狩猟免許取得者の高齢化の解消と鳥獣被害軽減を目的に、新規の狩猟免許取得に関して検討します。



駆除されたイノシシ

問 駆除隊員の身分を、組織的対応が可能になる消防団員並みに非常勤公務員扱いにしては。

町長 鳥獣害特措法に基づく「鳥獣被害対策実施隊」の設置を検討しており、市町村長が任命することによって非常勤の公務員扱いとなるものですが、隊員の時間的拘束等も懸念されることから、来年度

談合事件 「入札監視委員会」の設置を 早急に設置し29年4月から実施

問 昨年11月13日に執行された工事の入札は、一度は終わった入札を業者の要求でやり直すという異例の事件であり、組織として大きな問題である。今後、職員にどのように指導するのか。

副町長 入札の立ち会いは企画財政課の事務執行官と担当職員のみでなく、事業課等の担当課以外の職員も立ち会うほか、県にも職員の派遣を依頼します。

町長 毎月1月中旬に全職員を対象とする「入札談合防止に向けた研修会」を開催し、徹底した意識改革を行っていきます。

町長 入札監視委員会を早急に設置し、29年4月から対応したいと考えています。



産後ケア事業の取り組みは

助産師による新生児訪問の充実で対応

問 出産後から4カ月程度の間、心身ともに休養をとりたいと思うお母さんを赤ちゃんと一緒にサポートする産後ケア事業に取り組んで

町長 産後ケアが不十分となる可能性のある方には、助産師による新生児訪問の充実と産後訪問による育児支援を強化します。

問 県では来年度から、第三子以降を対象に、小学校入学時に教材費を助成するとしているが、本町での考えは。

町長 県が対象児童1人当たり3万円を上限に、補助対象経費の2分の1の額を町に補助するものです。本町の対象児童数

は11月末で38人となっております。今後、対象とする品目について検討していきます。

再質問 本町ではこの事業を実施するのか。

福祉課長 県の実施内容を確認しながら、今年度中に事業内容を精査し、調整を図っていきます。



認知症の早期発見と早期治療の考えは 症状に合わせた相談等を実施

問 認知症の早期発見と早期治療の考えは。

町長 地域包括支援センターが窓口となり、症状に合わせた対応方法や、受診の相談、必要があれば専門医の紹介も行っています。

問 認知症の人、家族の人が住みなれた地域で安心して暮らせる体制整備は。

町長 認知症についての啓蒙普及と、認知症の人や、家族の不安が少しでも軽減できるように、認知症の症状に応じて、どのようなサービスや支援が利用できるかを示した「認知症ケアパス」を作成し、全戸配布しています。

再質問 複数の専門職が認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、本人や家族支援等の初期の支援を包括的・集中的に行い、自立生活のサポートを行う認知症初期集中支援チームの設置は。

町長 29年度中の配置を予定しています。

問 成年後見制度(※)に関する相談体制、利用状況、成年後見人の確保は。

町長 相談件数は年間67件あり、今年度は10月末で6件となっております。利用支援事業は今年度、町長申し立てによる後見開始となった方が1人です。

今後、成年後見人や市民後見人のニーズがあることは予測されるので、県や近隣市町との協働、全国の動向も注視し、慎重に検討した上で、取り組んでいきます。

※成年後見制度
精神上的の障害(知的障害、精神障害、認知症など)により判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所に申立てをして、その方を援助してくれる人を付けてもらう制度。





集団移転団地内の空き地の除草作業は

状況を確認し回数を増やす

問 集団移転団地内の空き地の現状と今後の方針は。

町長 移転対象者の意向に変更が生じたため、空き区画が発生したものです。現在の空き区画数は荒浜中野5区画、巨理江下9区画、吉田舟入北1区画、吉田大谷地1区画の



今後の空き区画活用は

16区画となっています。この事業は震災時に災害危険区域に居住していた方が対象となることから、それ以外の方への土地提供は国と協議し同意を得る必要があります。

問 現在、空き地となっている宅地の除草作業の取り組みは。

町長 空き区画の管理として年に1回程度、除草作業を行っています。今後は現地の状況を確認しながら、回数を増やすなど、適正に管理していきます。

原発問題の対応は

合意が得られれば混焼

問 福島第一原発事故に伴う8,000トンの以下廃棄物は、一般ごみと混ぜての焼却（混焼）とするのか。

町長 12月に予定されている市町村長会議の結果を踏まえ、岩沼東部環境センターにおいて、県の調整のもと合意が得られれば混焼します。

再質問 焼却施設のバグフィルターでのセシウム除去には疑問の声があるが。

町民生活課長 県の方針として、基準内の濃度で混焼していく方針です。

再質問 町内のモニタリングの強化をすべきでは。

総務課長 現行のモニタリングを実施します。

再質問 最終処分場が見

民話の活用について

まずは民話を広めたい

問 「わたりの民話」を過去に発行したが、郷土の文化遺産として、今後の活用は。

また、語り部の育成や学校教育へ取り入れては。

教育長 図書館で実施している「おはなし会」での活用や読み聞かせボランティア団体にも協力を仰ぎながら、民話の普及に努めていきます。

また、小・中学校での「総合的な学習」等においても民話を取り上げられるよう協力を求めています。

語り部の育成について は民話語りの興味関心が高まっているとは言えず、時期尚早と考えています。

問 観光に取り入れ、標柱・看板の設置、民話をアニメ化してホームページでのPRや、観光のガイドブックにも活用しては。

町長 ホームページ等で民話を紹介するなど、広く周知したいと思えます。民話をつなぐルートを観光資源とし活用できるよう協議していきます。

問 町民バスさざんか号を総合南東北病院（岩沼市）まで延伸しては。

また、宮城病院（山元町）へも同様に延伸しては。

町長 地域からの要望もありますが、運行形態の検証や交通事業者の理解も必要であり、今後も調査・検証を行っていきます。

問 わたり温泉鳥の海が経営委託となるが、直行便で利便性を図るべきで

町民バス運行経路の変更は デマンドバスも含め検討

問 町民バスさざんか号は、公共交通として、地域の生活交通の確保のために運行しており、現在のところ直行便を運行することとは考えていません。

問 運行ルートの変更、デマンドバス化などは。

企画班長 デマンドバスも含めた路線バスと併用した運行を検討していきます。



読んでみてけさいん

入札の予定価格を公表しては

事前公表を実施し再開

問 予定価格を公表し、落札率の改善に努めては。

町長 入札及び契約の透明性確保と官製談合防止の観点から、今回の不祥事を踏まえ、予定価格の事前公表を実施した上で入札会を再開します。

問 今回の入札事件で県

は業者を22カ月の指名停止としたが、町は18カ月である。この根拠は。

町長 「巨理町建設工事入札参加業者指名停止要領」に基づき、規定される指名停止の最大期間となる9カ月に対し、今回の事件は悪質であり、町へ重大な結果を生じさせ

たことから、特例措置として2倍の18カ月の指名停止処分としました。

再質問 県が22カ月の制裁をしたのならば、町も準じた対応をすべきでは。

財務班長 県では22カ月から36カ月の間で処分することになっていますが、町要領の規定では1カ月から9カ月の間で処分することになっており、特例措置として2倍の18カ月の指名停止処分としました。

問 指名業者を確保するため他市町村からの入札参加は。

町長 「建設工事等指名競争入札参加者指名基準」を制定し、町外業者も含め、よりの確で透明性のある指名に努めていきます。



透明性のある入札に



鈴木邦昭議員

小・中学校の長寿命化について

重要課題として受け止めている

問 小学校の外壁の塗膜のはがれや黒カビが発生している校舎が見受けられる。児童の健康管理と危険防止のため、老朽化した校舎を改修・再生し、建物の長寿命化を図っては。
教育長 学校施設の安全対策は重要課題として受け止めています。平成29年度に、今後の校舎等の改築に関することを念頭に踏まえ、「(仮称)学校整備検討委員会」を立ち上げ、幅広く意見を聴取して、教育行政に反映したいと考えています。

いちご団地の修繕について

管理組合で修繕費の積み立てを

問 いちごハウスの地盤沈下が激しい。沈下したハウス内は地盤がごぼごぼのため、いちごの運搬時に傷がつき、売り物にならなかつたという声があった。町で補修整備する考えはないか。
町長 巨理町いちご団地は国の東日本大震災復興交付金を活用し整備したものであり、入植者は農業用施設の無償貸与を受けています。
いちご団地全体では生産量・所得とも順調に推移しており、地盤沈下による不陸等が原因で生産量が激減していることはないと考えています。ハウスの修繕は、入植者の自助努力で実施していただきたいと思えます。
再質問 業者に補修整備の依頼はできないのか。
農林水産課長 いちご団地管理組合で修繕費の積み立てをしていただきたいと思えますが、町としても補助的な事業があれば、検討していきます。



地盤沈下したいちごハウス

小・中学校男子用小便器に手すりの設置を

強い要望があれば検討する

問 足を骨折した時など、松葉づえの使用に慣れていない児童・生徒が、安心してトイレを利用できるように、各小・中学校の男子用小便器に手すりを設置しては。
教育長 各学校では洋式トイレの改修を進めていますが、松葉づえを使用している子供がおり、緊急的に小便器に手すりを付けてほしいという強い要望があれば検討します。



佐藤正司議員

災害公営住宅から一般公営住宅への移行は

4月から募集開始

問 災害公営住宅の空き住戸の原因は。
町長 被災者意向調査に基づき、集合住宅380戸、戸建住宅97戸を建設しました。空き住戸の原因は、家庭事情や経済状況の変化による自立再建が47世帯、親族との同居が9世帯、死亡及び施設入居が6世帯となっております。
問 入居募集対策として、入居資格要件を緩和しては。
町長 連帯保証人の確保が困難な方への段階的緩和や、震災時の世帯を基



一般にも募集される災害公営住宅

鳥の海への交差点道路改良は

関係機関と協議していく

問 鳥の海観光地へのアクセスである県道と町道交差点が、観光交通と復興工事車両の往来で渋滞している。今後、常磐自動車道4車線化に伴い、橋脚拡幅工事でさらに交差点が複雑になることが予想されるが、現状をどう捉えているのか。
町長 復旧・復興事業に伴う工事車両の往来や、鳥の海ふれあい市場、荒浜にぎわい回廊商店街、わたり温泉鳥の海などの観光客増加が重なり、頻りに渋滞が起きていることは認識しています。現在整備を進めている避難道路の完成により、車両の分散が図られ渋滞は解消するものと考えています。
問 常磐自動車道橋脚拡幅で交差点が複雑になることへの対策は。
町長 東日本高速道路(株)でこれから詳細設計を進めていくことになり、懸念される交差点形状とならないように、詳



渋滞解消が待たれる交差点

細設計の中に町の考えを反映させてもらうようによ要請していきます。
問 安全性の確保から交差点改良工事が必要では。
都市建設課長 県道の道路改良は仙台土木工務所と、信号機に関しては公安委員会と協議し、安全に通行できる交差点整備が行われるよう進めていきます。



渡邊 重 益 議員

充や校内研究の充実には指導主事の果たす役割は非常に大きく、継続していきたいと考えています。

新教育長の今後の指導方針は ソフト面の充実強化を図る

問 今後3年間の任期中、本町の教育行政をどのような指導方針で取り組む考えか。
教育長 教育の目指すところは人づくりであることと捉えており、感動と感化に満ちた教育の創造に取り組みたいと考えています。
また、学校教育の目標は生きる力の育成です。学習する喜びを監督し、学び続ける意欲や力をつけさせる、その学校教育の充実こそが子どもにとって生涯学習の基盤になると考えています。
問 学力向上を図るため、29年度以降も指導主事を配置すべきでは。
教育長 学習習慣の確立、教員の研修機会の拡

窓口サービスの環境改善を 29年度に環境整備を目指す

問 新役場庁舎完成までまだ3年の時間を要することから、現在のプレハブ仮設庁舎内に待合スペースを設置しては。
町長 現在、作業を進めている役場組織の機構改革の中で、課の新設や統廃合を含めた事務事業の見直しを実施し、少しでも町民の方々が利用しやすい環境が構築できるように検討しています。
再質問 来庁者へアンケート調査を実施し、今後に活かしては。
町長 この庁舎環境では改善にも限界があり、現状ではアンケート調査の実施は考えていません。



混み合う窓口

指定管理者制度 文化・スポーツ施設でも活用を スポーツ施設は順次移行を進める

問 平成18年9月の制度導入から10年が経過している。その導入効果は。
町長 民間事業者のノウハウ活用や、管理期間の中で施設管理計画・実行・強化・改善といった段階を踏まえることで、利用者に対するサービス向上にもつながっていると考えています。
問 今後の課題は。
町長 制度を有効に機能させるために、設置者である町が当該施設の設置目的を明確にし、指定管理者が的確で創意工夫を凝らした運営・管理に投資できるような試みが必要と考えています。



安藤 美重子 議員

まちづくり協議会への財政的支援は 補助事業がない場合は町で予算措置する

問 29年度は一般会計から予算措置をするのか。
町長 国・県の補助事業を確認し、無い場合は町で予算措置する考えです。
再質問 29年度は昨年度同様の予算要求となるのか。
企画班長 詳細で適正な事業費の積算を行っていたとき、人件費は今年度と同様の積算で予算作成をする旨を説明しています。
問 各協議会の就業規則はすべて同じ内容か。
企画班長 統一されていない。
問 指定管理についてはどのように考えているのか。
企画班長 具体的な検討はしていません。まず、それぞれの地区計画事業を行っていくことが先であると考えています。
再質問 地区計画事業についての支援は。
企画班長 全国の取り組み事例を随時提供しています。
問 まちづくり協議会担当の専従職員の配置は。
町長 まちづくりは重要課題として位置づけてい



吉田西部まちづくり協議会主催もちつき大会

バイオマスエネルギーの事業化は 実証実験の準備を進めている

問 震災後、「元気な日本をつくる会」より、旧いちご団地の活用として、牧草栽培による雇用の創出、温泉への排熱利用等のメリットからバイオマス発電が提案されたが、現在の状況は。
町長 コンテナ型バイオマス発電システムを導入し、実証実験の準備を進めており、現在、破砕機と25キロワットの発電機の設置を調整しています。
原料は、学校給食センターや町内の食品製造メーカーから排出されたカット野菜の残渣を利用する予定となっています。
また、発電機の廃熱を利用する「コンテナ型植物流工場」の設置も調整中です。
問 町では補助金を出すなどの支援を行っているのか。
企画班長 中小企業庁から事業所に対し、直接支援をしています。町では中央地区工業団地の一面を有償で貸与しています。
再質問 今後の支援は。
企画班長 荒浜地区の災害危険区域内の敷地の貸与を検討しています。



これからどうなる？バイオマス

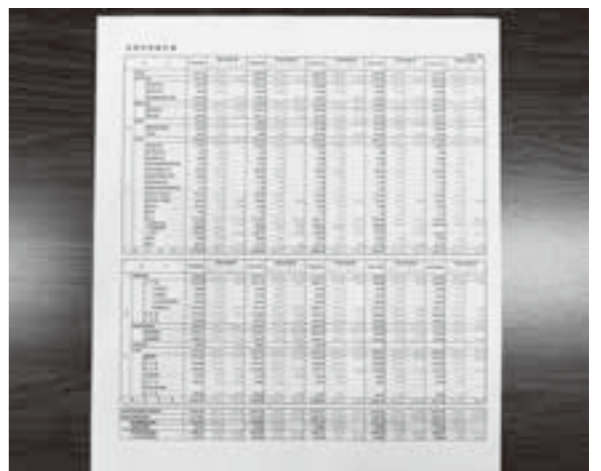
財政計画について

総務常任委員会

総務常任委員会では、今後、震災関連事業が減少し、役場新庁舎、保健福祉センターの建設が予定されている。「中長期的な視点に立った財政計画の策定」が早急に取り組まなければならない課題であると捉え、昨年11

建設基金等の繰入金が含まれている。
平成28年度以降、巨理名取共立衛生処理組合が整備する最終処分場や巨理地区行政事務組合が整備する葬祭場の負担金、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、公共下水道事業特別会計等への繰入金、公共ゾーンの整備費用等の支出増が見込まれる。この5カ年の財政計画では、歳入不足

は財政調整基金とその他の基金からの繰入金を充当することになっており、本町の財政事情は大変厳しいものと考えられる。
今後は、将来の収入に見合った事業計画を作成して毎年財政計画を公表し、町民の理解を得るような情報公開が必要である。



開している。

本町においても、震災復旧のほ場整備を契機に、法人化や集落営農への転換が必要であり、新規就農者支援対策や法人化設立のための指導機関の設置を検討するべきである。

また、各関係機関との連携を強化することで、水稲との複合経営が可能な振興農作物を具体的に示すとともに、集中的な財政支援措置を講じて担い手を確保し、的確な世代交代を図って行く必要がある。

農業後継者対策について

秋田県大仙市・能代市を視察

産業建設常任委員会

本町では、震災の影響により震災前からの農家数減少に歯止めがかからない状況であり、農業担い手対策及び後継者の育成は喫緊かつ重要な課題であることから、農業施策の先進地である秋田県大仙市・能代市を視察した。

本町では、震災の影響により震災前からの農家数減少に歯止めがかからない状況であり、農業担い手対策及び後継者の育成は喫緊かつ重要な課題であることから、農業施策の先進地である秋田県大仙市・能代市を視察した。

Aとともに農業経営を後押しする支援策を展開することで、複合経営化の推進や産地ブランド維持につなげている。また、農業技術センターの設立、移住就農者に対する借家等の住宅改造費や家賃の助成等、後継者育成のための様々な施策を展



子育て支援策について

山形県東根市・岩手県遠野市を視察

教育福祉常任委員会

子どもの医療費無料化や病後児保育などの子育て支援事業を他に先がけて実施してきた両市では、子どもの権利を一番に考えた施設・制度の整備で「子育てしやすいま

例」の中で、子どもの権利を守る大人の責務や地域全体で支え合う環境づくりをしている。
本町においても、子どもと子育て家庭を全町民で支え合う理念をわかりやすいキャッチフレーズにして住民意識を高め、支援事業の充実に努めるとともに、子どもの特性を磨く遊び場を通じた子育て支援を強化すべきである。

併せて、今後の子育て支援は、各課連携の上、住民団体や企業を巻き込んだ事業展開にすることが必要と考える。
さらに、新年度から実施予定の病児・病後児保育については、親が安心して働ける施設運営に努めていただきたい。



議会だよりの編集力向上のために

東京都瑞穂町を視察

議会広報常任委員会

議会広報常任委員会では、議会だよりの編集力向上のために、東京都瑞穂町を視察調査した。

親近感と分かりやすい紙面を目指し、読者へ負担を感じさせない構成としている。

瑞穂町の議会広報紙は「平成27年度第30回町村議会広報全国コンクール」で編集・デザイン部門奨励賞を受賞してい

また、「頑張っている町民」の特集記事を組む、多くの人に読んでもらえる住民参加型の広報紙づくりに努めている。

議会広報紙は、開かれた議会の取り組みと住民が参加できる紙面を提供する重要な役割を担い、議会と住民との密接なコミュニケーションが一層求められる。

巨理町の議会広報紙は現在の表紙採用から二十数年が経過している。「表紙」は目的・理念が凝縮された広報紙の顔として、読者を引きつけ親しみの持てる構成を考え、町民とともにある議会をアピールする必要がある。本町でも時代に合ったリニューアルが必要であり、情報共有のあり方など多くの課題研究を行い、編集力の向上に努め、町民と議会の架け橋になる広報紙づくりに努力していきたい。



請願・陳情

内 容	提 出 者	紹介議員	対 応
宮城県の子どもの医療費助成について県に対する意見書採択を求める陳情書	乳幼児医療ネットワークみやぎ 代表 刈 田 啓史郎		教育福祉常任委員会に付託
「高額療養費制度」「後期高齢者の窓口負担」見直しの慎重審議と現行制度継続を求める意見書の採択を求める陳情書	宮城県保険医協会 理事長 井 上 博 之		議員に配布
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	宮城県町村議会議長会 会長 秋 山 昇		議員に配布
亘理町障害福祉推進にあたって民間福祉事業への具体的支援策についての陳情	特定非営利活動法人幸創 理事長 高 野 幸 男		教育福祉常任委員会に付託
有害鳥獣（イノシシ）駆除対策に対する補助の増額及び広域連携の制度化を求める意見書	角田市議会 議長 柄 目 孝 治		採択

議長交際費を公開します

議長が議会の対外的活動をするために要する経費を議長交際費といいます。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

10月分			11月分			12月分		
No.	内 容	支出金額	No.	内 容	支出金額	No.	内 容	支出金額
1	第1回宮城県亘理町植樹食会祝儀	10,000円	1	町工業統計調査員 秋の褒章受章祝電代	1,890円	1	亘理太陽光発電所造成工事起工式昼食会費	12,000円
2	蔵王町長就任祝電代	1,306円	2	愛知県岡崎市（職員派遣元）議会正副議長就任祝電代	1,760円	2	農政懇談会会費	10,000円
3	教育福祉常任委員会先進地視察先土産代（10/17～18山形県東根市・岩手県遠野市）	9,089円	3	宮城県選出国会議員との意見交換会会費	7,000円	12月分計 2件		22,000円
4	大河原町長就任祝電代	1,306円	4	議会運営委員会先進地視察先土産代（11/16～17神奈川県箱根町・南足柄市）	5,969円			
5	議会広報常任委員会先進地視察先土産代（10/26東京都瑞穂町）	2,922円	5	宮城県町村議会議長会議長交流会会費	5,000円			
10月分計 5件		24,623円	11月分計 5件		21,619円			

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

◆ 次の定例会は

3月2日(木)～3月21日(火)の予定です。

一般質問は3月7日(火)、8日(水)を予定しています。

役場仮設庁舎2階大会議室で行われますので、お気軽にお越しください。

議員の会議等出欠状況

平成28年10月3日～平成28年12月27日

○…出席 ×…欠席 △…遅刻、早退 -…員外 傍…傍聴 弔…弔事 研…研修 公…公務

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	15	16	17	18
				鈴木高行	渡邊重益	小野一雄	佐藤邦彦	小野典子	高野進	安藤美重子	渡邊健一	高野孝一	佐藤正弘	大槻和子	百井いと子	鈴木邦昭	木村芳満	熊田芳子	佐藤アヤ	佐藤實
			出席回数(回)	20	17	11	19	25	19	17	16	20	30	25	11	16	23	20	20	15
			会議回数(回)	20	19	11	19	25	19	17	16	20	30	25	11	16	23	20	20	15
10	3	月	教育福祉常任委員会	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	3	月	議会運営委員会	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	-	○	○	○
	3	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	金	議会広報常任委員会	-	○	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-
	7	金	教育福祉常任委員会	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	14	金	臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	金	議会広報常任委員会	-	○	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-
	17	月	総務常任委員会	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	○	-
	17	月	教育福祉常任委員会先進地視察調査	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	18	火	教育福祉常任委員会先進地視察調査	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	20	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21	金	議会広報常任委員会	-	○	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-
	25	火	全国町村議会広報研修会	-	×	-	研	研	-	-	-	-	研	研	-	-	研	-	-	-
	26	水	議会広報常任委員会先進地視察調査	-	×	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-
	27	木	総務常任委員会議会懇談会	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	○	-
	31	月	教育福祉常任委員会	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
11	7	月	議会広報研修会	-	研	-	研	研	-	-	-	-	研	研	-	-	研	-	-	-
	11	金	教育福祉常任委員会	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	14	月	総務常任委員会	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	○	-
	16	水	議会運営委員会先進地視察調査	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	-	○	○	○
	17	木	議会運営委員会先進地視察調査	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	-	○	○	○
	22	火	産業建設常任委員会	-	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-
	25	金	総務常任委員会	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	○	-
	28	月	議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-	○	-	○	○	○
	29	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	2	金	12月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	金	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	金	議会広報常任委員会	-	○	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-
	5	月	各常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
	7	水	12月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	木	12月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	金	12月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	木	議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-	○	-	○	○	○
	20	火	総務常任委員会	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	○	-
	22	木	教育福祉常任委員会	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	27	火	議会広報常任委員会	-	○	-	△	○	-	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-

私 も ひ と こ と

安心つづける地域づくりを



紺野 良さん
(桜小路西区)

昨今、テレビなどのニュースから高齢者による悲しい運転死亡事故の報道を目にします。このニュースを受けて運転免許返納を考えたシルバードライバーの方は少なくないでしょう。

しかし、高齢者の方たちから免許を取り上げるということだけの対策で解決するでしょうか。病院や買い物に行くための交通手段として亘理町の公共交通はまだ発展途上のように思います。このままの状態で車を手放せば、閉じこもりがちになり、体調を悪くさせてしまう可能性もあると思います。高齢者の方たちが自動車を運転しなくても

よい社会に近づけることが、すべての世代にとってより良い社会になるのではないのでしょうか。高齢化が進むことは誰もが予測できることです。みなさんが安心して暮らせる地域づくりを期待しています。



亘理町の子どもを思いやり



三品 監子さん
(田沢区)

私は逢隈地区に住む三人の子どもを持つ母親です。子育てには絵本が必需品であり、長男が小さい時には絵本を借りに図書館に通っていました。が、今ではすっかり足が遠のいてしまいました。そこで、図書館から離れた地区にも移動図書館のような絵本を借りられたり、読みながらお友達とふれ合ったりできる場所があるといいなと思っています。

それから、逢隈地区は登下校に「さざんか号」を使う子どもが多いのですが、バスが通らない地区があったり、下校の時間と合わないなど、不便な面もあるので、スクールバスがあ



とありがたいです。

最後に、もうすぐ中学生になる子どもは、仙台市と町内の小・中学校の子どもたちの学力に差があるのではないかとこのとです。学力の底上げにつながるような良策があれば、ぜひ進めていただきたいです。

編集後記

あけましておめでとうございます。年末年始はいかがお過ごしだったでしょうか。皆様の手に広報紙が届くころには、今年も1ヵ月が過ぎていきます。月日が経つのは早く、1日1日を充実して過ごしたいものです。

さて、今年は365人の新成人が誕生しました。義務教育を終え、約5年間それぞれの人生を歩み、1月8日に再会しました。なつかしさに会話が弾む新成人を見てみると、亘理町の将来が楽しみでなりません。若者の政治離れが叫ばれる中、若者にも開かれた議会となるよう、私たち広報委員会はその懸け橋となり、一生懸命広報紙を編集していきます。

(M・K)

議会広報常任委員会

- 委員長 佐藤 正司
- 副委員長 佐藤 邦彦
- 委員 渡邊 重益
- 小野 典子
- 大槻 和弘
- 木村 満

議会に関する詳しい内容は亘理町のホームページからご覧いただけます。

<http://www.town.watari.miyagi.jp/>

